



トピックス…③

酪農家の山下雅博氏が 内閣総理大臣賞を受賞

10月21日、農林水産祭中央審査委員会（会長 鈴木 和夫氏）において、平成27年度（第54回）農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定された。天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去1年間（平成26年8月～平成27年7月）の農林水産祭参加表彰行事（293件）において、農林水産大臣賞を受賞した491点の中から決定されたもので、酪農では山下雅博氏が内閣総理大臣賞を受賞した。

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されている。本年度は、天皇杯に養豚の有限会社星種豚場（栃木県那珂川町）ほか7名、内閣総理大臣賞に酪農の山下雅博氏（北海道天塩町）ほか7名、日本農林漁業振興会会長賞に大豆の阿部真一（新潟県長岡市）ほか7名が決定した（表参照）。

内閣総理大臣賞を受賞した山下氏は大学卒業後、乳業メーカーに就職した。その後、自分で酪農をする夢を果たすため、11年間勤めた会社を辞め、北海道の2牧場で研修後、さらに牧場を引き継ぐことを前提として、前オーナーの下で研修した後に就農した。

牛舎、牛、草地、施設・機械を購入して、引き継ぎ後は昼夜放牧を行い、全頭が同じ時期に分娩する季節繁殖への取組、人工授精ではなく種雄牛による授精への移行、子牛の完全放牧などを取り入れた。これにより、サラリーマン時代と同程度の労働時間で、他に類を見ないほどの高所得率で、高収益酪農を実現した。

山下氏の経営の特徴は次の通りである。

① 収益性を高める集約放牧

放牧草は高蛋白で嗜好性の高いペレニアルライグラスで、牛の状態を見ながら濃厚飼料で栄養調整を行い、健康状態を保っている。また、放牧地については簡易更新を行い、採草地は土壌診断に基づく施肥を実施している。さらに、草地更新は毎年5～6haずつ行っており、これにより牧草の栄養価を高め、粗飼料自給率を100%にすることで購入飼料を減らし、乳飼比を低くして収益を高めている。

② 季節繁殖の導入により省力化を実現

飼養する乳牛を同じ時期に分娩させるため、育成牛は発情同期化による人工授精で分娩時期を揃え、2～4月に分娩した経産牛は自然に5～6月に発情期を迎え、種付けは同時放牧の種雄牛に任せている。平均分娩間隔は385日と高い受胎状況である。季節繁殖の導入により分娩、哺乳時期と牧草収穫期が重ならず、また、種付けの作業負担が軽減され、牧草収穫に専念できる。牛群は世代別の3群で、飼養管理は簡素化・省力化できる。また、1～2月は搾乳を休止しゆとりを創出する。

③ 普及性と今後の発展方向

高栄養自給飼料生産のための圃場管理の精密化と有効利用、大胆な季節繁殖の導入を可能とする種雄牛を活用した繁殖管理により、高い収益性と省力化を実現できる。今後は更に連産性向上、生産力の高い草地作りを実践するとしている。

平成27年度（第54回）農林水産祭天皇杯等受賞者

	出品財	住所	氏名等
天皇杯	経営（水稲）	広島県東広島市	農事組合法人ファーム・おだ
	経営（りんどう）	岩手県八幡平市	新岩手農業協同組合八幡平花卉生産部会
	経営（養豚）	栃木県那珂川町	有限会社星種豚場
	経営（茶）	静岡県御前崎市	株式会社やまま酒造多園
	産物（木材）	茨城県神栖市	中国木材株式会社鹿島工場
	産物（水産加工品）	長崎県対馬市	有限会社対馬かまぼこ店
内閣総理大臣賞	むらづくり活動	埼玉県三芳町	三芳町川越いも振興会
	経営（水稲他）	岩手県磐石町	有限会社ファーム菅久
	経営（ミニトマト）	愛知県碧南市	新美康弘・新美みどり
	経営（酪農）	北海道天塩町	山下雅博
	産物（茶）	滋賀県甲賀市	農事組合法人グリーンティ土山
	産物（乾しいたけ）	三重県多気町	山崎 保・山崎佳代
日本農林漁業振興会会長賞	地域活性化	鹿児島県薩摩川内市他	長浜漁業集落
	むらづくり活動	山口県萩市	須佐地区一本釣船団
	経営（大豆）	新潟県長岡市	阿部真一
	経営（ぶどう他）	長崎県大村市	有限会社シュシュ
	生活改善	鹿児島県志布志市	かあちゃんべふんご会
	経営（生糸・絹織物）	東京都中央区	ブラチナボーイ研究会
日本農林漁業振興会会長賞	経営（林業）	奈良県下市町	永田晶三
	経営（資源管理・増殖）	北海道広尾町	広尾漁協エゾバイツプ養漁業部会
	むらづくり活動	奈良県天理市	農事組合法人南檜垣営農組合